



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社インフキュリオン 上場取引所 東
 コード番号 438A URL <https://infcurion.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 丸山 弘毅
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員CFO (氏名) 野上 健一 TEL 03 (6272) 3924
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	6,954	-	417	-	328	-	408	-
2025年3月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益2026年3月期第3四半期 409百万円 (-%) 2025年3月期第3四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	21.35	19.87
2025年3月期第3四半期	-	-

- (注) 1. 2025年3月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2026年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 当社は、2025年8月20日付で普通株式1株につき400株の株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算出しております。
3. 2026年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2025年10月24日付で東京証券取引所グロース市場に上場したため、新規上場日から2026年3月期第3四半期累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	10,398	5,526	53.2
2025年3月期	5,233	2,413	46.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 5,526百万円 2025年3月期 2,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2026年3月期	-	0.00	-	-	-
2026年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	31.0	300	109.5	180	67.2	240	221.2	12.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	20,615,600株	2025年3月期	18,669,600株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	－株	2025年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	19,116,065株	2025年3月期3Q	－株

- (注) 1. 当社は、2025年3月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年3月期第3四半期の「期中平均株式数」は記載しておりません。
2. 当社は、2025年7月31日開催の取締役会において、A種優先株式、B種優先株式、B2種優先株式、C種優先株式及びD種優先株式の全てにつき、定款に定める取得条項に基づき取得することを決議し、2025年8月15日付で自己株式として取得し、対価としてA種優先株式、B種優先株式、B2種優先株式、C種優先株式及びD種優先株式1株につき、それぞれ普通株式1株を交付いたしました。また、当社が取得したA種優先株式、B種優先株式、B2種優先株式、C種優先株式及びD種優先株式の全てについて、同日付で消却しております。
3. 2025年3月期の「期末発行済株式数」及びに2026年3月期第3四半期の「期中平均株式数」は、前連結会計年度の期首に普通株式への変更が行われたと仮定して、算出しております。
4. 当社は、2025年8月20日付で普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っております。上記では前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2026年2月13日に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。決算説明会で使用する資料は、当日TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年12月31日)における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費のほか、堅調な設備投資が下支えとなり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、地政学リスクの高まりや米国の通商政策への警戒感による影響等により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業が立脚する決済・金融領域におきましては、Eコマース(EC)、モバイルバンキング、二次元コード・バーコードを用いた消費者向けデジタル決済・金融サービスの拡大に加え、法人領域におけるデジタル・トランスフォーメーションの進展により、事業者間の決済取引においても電子商取引の拡大及びキャッシュレス化が急速に進んでおります。銀行口座以外での給与受け取りを可能とした「デジタル給与払い」の解禁、バックオフィス業務の電子化を促す「改正電子帳簿保存法」の施行及び「インボイス制度」の導入など、政府による政策面での後押しも、法人、個人双方の領域におけるキャッシュレス決済の拡大に寄与しております。

このような状況の下、当社グループは「決済から、きのうの不可能を可能にする。」をミッションとして掲げ、消費者向け(BtoC)から事業者間(BtoB)まで、あらゆる産業の事業者や金融機関に決済・金融機能を実装することにより、経済活動の変革を支える「決済イネーブラー」として事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、当社グループの成長ドライバーであるペイメントプラットフォーム事業において導入企業の拡大による事業者間の決済処理金額(Gross Transaction Value、以下「GTV」という。)の積み上げに注力したほか、マーチャントプラットフォーム事業、コンサルティング事業における事業活動に取り組みました。また、2025年4月には、(株)三井住友フィナンシャルグループ、(株)三井住友銀行、三井住友カード(株)(以下、「SMBCグループ」という。)が提供開始した法人向けデジタル総合金融サービス「Trunk」の開発に参画することを発表するなど、2024年9月に締結した資本業務提携契約に基づくSMBCグループとの法人向け決済領域における協業が具体的に進捗いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,954百万円、営業利益は417百万円、経常利益は328百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は408百万円となりました。

主なセグメントの概況は以下のとおりであります。

<ペイメントプラットフォーム事業>

ペイメントプラットフォーム事業では、クラウド上に構築された当社グループの決済・金融ソリューションを金融機関や事業者のサービスにAPIで接続し組み込むことで、各社サービスへのクレジットカード機能やキャッシュレス決済機能の搭載を実現するオープンプラットフォームを提供しております。具体的には、次世代カード発行プラットフォーム「Xard」、請求書カード払いプラットフォーム「Winvoice」、スマホ決済プラットフォーム「Wallet Station」を中心としたプロダクトを展開しております。

当第3四半期連結累計期間は、Xard及びWinvoiceにおけるGTVが積み上がったことにより従量型で得られるストック収入が伸長し、セグメントの売上高を牽引いたしました。また、Wallet Stationにおける開発売上が前年同期を下回った一方で、SMBCグループと共同で進める法人向けデジタル総合金融サービス「Trunk」の開発に係る収益が寄与し、フロー収入が前年同期に比して増加いたしました。

これらの結果、ペイメントプラットフォーム事業の売上高は3,674百万円、セグメント損失は178百万円となりました。

<マーチャントプラットフォーム事業>

マーチャントプラットフォーム事業では、キャッシュレス社会の拡大に必要な要素である店舗におけるキャッシュレス化・デジタル化を推進するためのプラットフォームを提供しております。具体的には、決済端末、アプリケーション、決済センターをワンストップで提供する決済ソリューション「Anywhere」の提供ほか、足もどではフルクラウド型アクワイアリングシステムの正式リリース準備を進めております。

当第3四半期連結累計期間は、Anywhereにおいてモビリティ業界への決済端末の導入が進んだことにより、フロー収入が大きく増加したほか、稼働端末ID数が着実に積み上がったことにより、将来のストック収入の源泉となる事業基盤が拡大いたしました。

これらの結果、マーチャントプラットフォーム事業の売上高は2,118百万円、セグメント利益は435百万円となりました。

<コンサルティング事業>

コンサルティング事業では、決済・金融領域を中心に、大企業の新規事業やデジタル化など、企画から運用までの各フェーズにおけるコンサルティングサービスを提供しております。当社グループが強みを持つキャッシュレス関連の知見を活かしたハウスPay導入支援等をはじめ、ネオバンク事業推進支援や、金融事業の戦略検討支援等について、金融機関から流通・サービス企業、情報・通信企業と幅広い先に対してアドバイスをっております。

当第3四半期連結累計期間は、安定した顧客基盤からの受注によりセグメント業績は堅調に推移したほか、ペイメントプラットフォーム事業及びマーチャントプラットフォーム事業でのビジネスに繋がる案件の比率も高い水準で推移いたしました。

これらの結果、コンサルティング事業の売上高は1,160百万円、セグメント利益は475百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は10,398百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,164百万円増加いたしました。これは主として、「Winvoice」の決済額の増加等により、現金及び預金が3,760百万円、未収入金が463百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は4,871百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,051百万円増加いたしました。これは主として、「Winvoice」の取引増加に伴い借入の実行を行い、短期借入金が1,757百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,526百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,113百万円増加いたしました。これは主として、新規上場に伴う公募増資等により資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,352百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想は、当第3四半期連結累計期間までの実績及び今後の見通しを踏まえて修正いたしました。詳細につきましては、本日(2026年2月13日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,615,931	5,376,254
売掛金	1,126,909	1,186,287
契約資産	309,502	696,737
商品及び製品	91,036	109,431
仕掛品	719	2,040
原材料及び貯蔵品	4,294	5,760
未収入金	718,743	1,182,104
貸倒引当金	△57,151	△32,324
その他	192,133	214,566
流動資産合計	4,002,119	8,740,859
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	4,051	5,474
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	4,051	5,474
無形固定資産		
ソフトウェア	105,110	555,355
ソフトウェア仮勘定	609,584	282,449
無形固定資産合計	714,695	837,804
投資その他の資産		
投資有価証券	14,488	54,034
繰延税金資産	345,451	599,765
差入保証金	152,536	159,793
その他	375	368
投資その他の資産合計	512,850	813,961
固定資産合計	1,231,597	1,657,239
資産合計	5,233,717	10,398,099

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	272,482	321,047
契約負債	110,100	111,975
短期借入金	-	1,757,000
1年内返済予定の長期借入金	20,400	20,400
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	200,000	200,000
未払法人税等	78,742	147,084
未払金	221,097	286,906
未払費用	272,956	151,729
製品保証引当金	28,262	211
賞与引当金	-	176,229
預り金	307,922	442,103
その他	148,777	112,651
流動負債合計	1,660,741	3,727,339
固定負債		
長期借入金	1,159,200	1,143,900
固定負債合計	1,159,200	1,143,900
負債合計	2,819,941	4,871,239
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	1,452,104
資本剰余金	2,017,547	3,369,651
利益剰余金	291,446	699,577
株主資本合計	2,408,993	5,521,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,527	5,527
その他の包括利益累計額合計	4,527	5,527
新株予約権	254	-
純資産合計	2,413,775	5,526,860
負債純資産合計	5,233,717	10,398,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	6,954,295
売上原価	3,621,064
売上総利益	3,333,230
販売費及び一般管理費	2,915,781
営業利益	417,448
営業外収益	
受取利息	1,369
受取手数料	2,227
その他	1,051
営業外収益合計	4,647
営業外費用	
支払利息	33,631
上場関連費用	31,755
株式交付費	25,273
その他	3,351
営業外費用合計	94,012
経常利益	328,084
税金等調整前四半期純利益	328,084
法人税、住民税及び事業税	174,813
法人税等調整額	△254,860
法人税等合計	△80,046
四半期純利益	408,130
親会社株主に帰属する四半期純利益	408,130

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	408,130
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	999
その他の包括利益合計	999
四半期包括利益	409,130
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	409,130

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	ペイメントプ ラットフォー ム事業	マーチャント プラットフォーム 事業	コンサルティ ング事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,674,089	2,118,547	1,160,249	6,952,885	1,409	6,954,295
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	154,229	144,900	299,129	△299,129	-
計	3,674,089	2,272,776	1,305,149	7,252,015	△297,719	6,954,295
セグメント利益又は 損失(△)	△178,865	435,422	475,784	732,340	△314,891	417,448

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額は、講演料収入等であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△314,891千円は、各報告セグメントに配分していない全社損益であります。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、受取配当金であります。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年10月24日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2025年10月23日を払込期日とする公募(ブックビルディング方式による募集)による新株式1,700,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,313,760千円増加しております。

また、ストックオプションの行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ38,344千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が1,452,104千円、資本剰余金が3,369,651千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間
(自 2025年4月1日
至 2025年12月31日)

減価償却費

88,218千円